

# けやきっ子

大子町立だいご小学校学校だより 第18号

令和6年7月19日発行 文責:校長 清水洋太郎

## 「未来」に向けて、意味のある体験・交流活動ができました!

7月第3週が終わりました。梅雨の雨が降ったり、暑い日もあったりと不規則な天気が続きますが、3連休明けの今週も児童は元気に登校し、学習や生活に取り組むことができました。今週は、6年生にとって、意味のある体験・交流活動を行うことができました。ご周知の通り、大子町の中学校は令和7年度に統合して1校になります。大子町では、現在中学校に在籍している生徒はもちろん、次年度以降に中学校に進学する小学校6年生に対しても交流事業を進め、人間関係を深め、円滑に統合が進むように、教育委員会と各小中学校が連携して、交流事業に取り組んでいます。5月には小学校6年生が大子中学校の運動会に参加しました。今回は、なかなか見学することができない常陸那珂港区を見学し、いろいろな体験活動をとおして、交流活動を行うことができました。



1年生が生活科の学習で、水鉄砲で遊びました。暑さの中でしたが、とても楽しそうでした!

\*\*\*\*\*

## 町立小学校6校で、常陸那珂港と常陸那珂火力発電所を見学し、交流してきました!

16日(火)に1組、17日(水)に2組が、常陸那珂港を見学しサップ船に乗ったり、常陸那珂火力発電所を見学したり、いろいろな体験をすることができました。また、その体験をとおして町内他校の6年生と交流を深めることができました。最初は緊張していましたが、徐々にお互いに慣れてきたようでした。サップ船体験では、最初船酔いを心配していた児童が降りる頃には、「降りたくない。もっと乗ってみたいです。次に乗るには、ここに勤めないとだめですか?」と話してくれました。他校の児童が先にバスを降りると「隣の席の友達がいなくなって寂しいです。」「でも、新しい友達が4人もできて嬉しいです。」「来年4月の大子中はもう大丈夫です。」などという言葉も聞くことができました。わずか1日の体験と交流でしたが、遠い「未来」を見据えたキャリア教育の体験や近い「未来」である統合を見通した交流が行えたことをとてもうれしく感じます。港湾事務所や発電所の職員のみなさまからも、「元気で明るく素直で積極的で大子町の小学生は素晴らしいですね!」と褒めていただきました。それをリードしていた本校の6年生を誇りに思います。



## 学校ポータルサイトへのご訪問に感謝いたします

昨年7月に学校ポータルサイトのシステムを変更して、早1年が過ぎました。「だいご小の今」「けやきっ子のがんばり」を発信することを心がけ、学期中は毎日の更新を続けてきました。1年間のアクセス数は222,725(1日平均約600)となり、右のグラフのように、訪問者も増加傾向です。これからも本校の日常を発信して参ります。

